

第79回日本臨床眼科学会

ランチョンセミナー25

日時▶2025年10月11日(土) 11:40~12:30

場所▶第6会場(大阪国際会議場 12F グラントック)

オンデマンド配信期間▶2025年10月22日(水)~11月21日(金)

国産のIOLって 実際のところどうなの!?

Part4

座長のことば

白内障手術治療の進歩と共に、近年さまざまな種類の眼内レンズが開発されています。多くの種類があるため、選択時に迷ってしまうことも少なくありません。先生方は、安全性や安定性、術中の操作性、患者さんの満足度など、多くの視点から総合的に眼内レンズを選択されていることと思います。国産メーカーであるニデック社のIOLラインアップにも、単焦点レンズに加え、昨年からトーリックレンズが加わりました。

今回のランチョンセミナーでは、新進気鋭からスペシャリストまで3名の先生にご登壇いただき、普段から使用されている眼内レンズの特長や使用時のポイントについてご講演いただきます。小松 功生士先生(町田市民病院)にはNSP-3の臨床成績について、吉川 祐司先生(埼玉医科大学病院)には硝子体サージャン目線でのNSP-3の有用性について、野田 徹先生(東京医療センター)にはNP-Tの有用性と固定性の良さについてご講演いただく予定です。本セミナーを通じて、今後の眼内レンズ選択についてみなさんと一緒に考える機会となれば幸いです。

座長



Motokuro Kamei

瓶井 資弘先生

愛知医科大学眼科学講座
主任教授

当院における NSP-3の短期臨床成績

硝子体手術における NSP-3の新たな可能性

乱視矯正と 眼内レンズ:NP-Tの有用性

演者



Koji Komatsu

小松 功生士先生

町田市民病院 眼科担当医長
東京慈恵会医科大学眼科学講座 講師

演者



Yuki Yoshikawa

吉川 祐司先生

埼玉医科大学病院眼科 専任講師

演者



Toru Noda

野田 徹先生

国立病院機構東京医療センター
医療情報部長・眼科科長